

北斗会看護専門学校  
2021 年度自己評価報告書

2022 年 2 月自己評価実施

## 2021年度 学校評価

### 基準1 教育理念・目的・育成人材像

2023年度には新カリキュラムとなるため、今年度は月に1回のカリキュラムプロジェクトチームの会議を行ってきた。現行の教育理を念吟味し、その重要性を再認識している。そのためもあり、評価は高い。今後は、教育目的・目標・授業計画などプロジェクトチームで討議された目指したい教育、育てたい学生像について、全ての教員と共有できる時間を持ち、より一層の充実を図りたい。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大に伴い、リモート授業や現行の授業計画を見直し、度重なる変更の中、教職員が一丸となって、授業や実習を行った。学生の卒業前アンケートでは「教育目的、教育目標に向けた支援」に対して「満足」「まあ満足」合わせて100%であり、制限された環境の中であるが、学生は意欲的に学び取ろうとしていた。次年度も引き続き、教育目的・目標を目指した取り組み、授業を展開できるように努めたい。

### 基準2 学校運営

中期的計画「定員40名を満了した魅力ある学校づくり」の3年目。「国家試験合格率100%」「受験者の確保」「教育体制の充実」は継続して取り組み、充実させていきたい。

今年度は法人の協力があり、学生に対してワクチン接種を行うことができ、新型コロナウイルス感染拡大に対しての大きな混乱もなかった。学校長を中心とし、法人や学校関係者評価委員会、実習施設をはじめ様々な機関からの協力を得られている。

「情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っている」については、学生に関するシステムは様々な情報が一元化されてはいない。ICTが進む中、将来的に必要となるかもしれない。状況に応じて今後検討していきたい。

次年度の課題としては、引き続き、新型コロナウイルス感染症に対しての感染対策を十分に行ない、学習が滞らないようにした。

### 基準3 教育活動

教育方法については教育理念に沿った目標の設定や教育課程の編成方針、実施方針を定めているかについては高い評価である。学生の卒業前アンケートや面接からは授業内容について「満足」「ほぼ満足」が97.1%と高い。

「授業評価を実施する体制を整備しているか」「教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか」の項目は評価が低く、授業を行う教員にとっては、教育理念を目指した授業を行うことに不足を感じている。授業に対しての学生の変化を見定め、ねらいに到達するべく授業となっているか、もっと工夫すべきことはないかなど、教員が互いに授業内容を共有することで、発展した授業となり、教育効果が高まる。本校の学生は大学を卒業したものが1～2割、社会人経験のあるものが多く、専門的な授業を受けられることへのニーズが高いため、教員一人一人の教育力を向上していくことが、体制として必要と考える。次年度の重点目標として、「指導力の向上」を上げて取り組みたい。

#### 基準4 学 修 成 果

今年度卒業生 43 回生 37 名、うち大阪府下就職者は 28 名。全体の 75.6%。目標数値の 80%に届かなかった。しかし、希望者就職は 100%である。

就職試験は、前年度3月に行われる病院もあり、年々早くなってきているように感じる。そのため、キャリアガイダンスの開催を、43回生は1年次3月、44回生（1年生）は1回目を12月に行い、2回目は3月に行う。学生のニーズは高く、就職活動に向けて真剣に準備を進めている。個別に相談がある学生には個別に対応している。卒業前アンケートからは先輩から「就職活動について話を聞きたい」意見もあった。ガイダンスに取り入れ、先輩からのアドバイスが受けられる時間を設けるなど工夫したい。

前年度は、統合実習に協力頂いた、卒後1～6年目までのさわ病院へ就職した卒業生への卒後のアンケートを行ったが、卒後の実態を調査で把握できていない。卒後半年または1年でどのように変化していくかなど学生の状況把握については、今後検討していきたい。

#### 基準5 学 生 支 援

教員間の学生の就職活動の情報共有は進めていく。学生は就職情報の掲示物やパンフレットを活用し情報の一つとしている。就職情報の提示や個別の支援が必要な学生については相談が受けられるよう支援していく。

学校生活を送る中で不安を示す学生についてはカウンセラーの役割を果たす法人内の臨床心理士へ相談ができるように案内している。次年度からは担当者が変わるが、引き続き、学校外部のスクールカウンセラーの位置づけで、必要時は学校と連携し、学生支援にあたる。

新型コロナウイルスに伴う経済的不安に対しては追加支援の情報を周知したのち、希望した2名の学生に早急に対応した。また、今年度から高等教育修学支援新制度の対象校の指定を受け、経済的支援の選択肢が増えた。学生のアンケートからは「分かりやすく丁寧に教えてもらった」「早い対応」と多くの事務手続きを必要とする支援に対して学生の満足度

は高い。

本校学生は親としての役割を持ちながら学ぶ学生が多いため、経済的支援が必要な学生には、今後も支援が行き届くよう体制を整えていきたい。

同窓会はコロナの影響により開催を見合わせているが、活動内容については卒業時にインフォメーションしている。

## 基準6 教育環境

昨年同様、今年度も感染対策として、環境を整備し、保健所、法人感染対策本部等と連携し感染防止にあたった。また、情報が得られれば早急に対応できるように努めた。専門職としての感染対策の意義について教育すると共に施設整備を充実させる対策は十分に行っていく。次年度も重点目標として、「感染防止対策と学生への支援」を上げて取り組みたい。

学生のアンケートからは「トイレの様式化」「椅子と机の不良」「実習用ベッドの高さの調整ができない」「図書の実質」など設備、物品の要望があった。学習環境としては経年劣化や物理的制限がある中でも、引き続き図書の充実、物品の整備、感染対策と合わせて、各教室のスペースの確保に努力したい。

## 基準7 学生の募集と受入れ

「学生の募集と受入れ」については新型コロナウイルスの影響により、例年実施している遠方への訪問はできなかった。しかし、3月には大阪府下、京都、奈良の准看護学校、衛生看護科へ訪問した。准看護学校の閉校、課程変更が進み、2年課程へ進学する学生が減少している中で、どのように学生を確保するか課題である。

今年度の受験生は79名、合格者42名、うち辞退者2名。2022年度45回生40名が入学の予定である。受験者倍率1.98倍と前年度の1.5倍から増加した。オープンスクールの参加者も前年度より増加した。

大阪府看護学校協議会で従来行われていた説明会も開催することができず、学校をPRする機会も減少する中で、代わってSNSを利用したPR活動に移行した。ホームページもリニューアルし、募集要項の請求に対しての反応を見ることができた。次年度は准看護師として実務経験がある入学希望者に対してもアプローチできるようにしたい。制限がある中でも、学生のニーズをとらえ、必要となる学生募集に力を入れ、選ばれる学校となれるよう情報発信やオープンスクールの開催など様々な取り組みをしていきたい。

## 基準8 法令等の遵守

法令関係については本校規定があり、この規定にのっとり対応できるようにしたい。対応が必要となった事例がある場合は、法人管理課と連携し、対応にあたりたい。

学校評価については、自己評価に加え、学校関係者評価委員会を立ち上げ2年目となる。外部からの評価を受けることで貴重なご意見を頂き、学校改善に取り組む機会となった。自己評価、学校関係者評価の結果についてはホームページに記載し、社会に公表している。これにより入学希望者が学校の運営を知り、受験志望に結びつくことにも役立てたい。

## 基準9 社会貢献・地域貢献

学校施設利用について、今年度は休業要請や新型コロナウイルス感染対策により、利用の機会は減少した。感染対策を講じながら、学校施設の利用を進めたい。

## 【改善策】

1. 新型コロナウイルス感染の状況は次年度も同様の状況にあると考える。感染防止対策と学習を両立させられるよう学習環境を整え、また、看護専門職としての健康教育、感染防止教育が行えるよう取り組む必要がある。重点目標として「感染防止対策と学生への支援」をあげ取り組む。
2. コロナ禍では、学習時間の確保と充実が課題である。リモート授業では学習習慣が身につけていない学生にとっては学習の習得も難しい。しかし、こういった中でも、1年次から計画的に学習に取り組める工夫や学習指導を行い、日々の学習とともに、国家試験に向けて学習できる環境をつくる。
3. 2023年度から新カリキュラムによって学校運営が展開される。教員個々の教育観の育成、育てたい学生像に向けた取り組みを強化し、教育理念、教育目的、教育目標を具現化できるよう臨む必要がある。そのため「指導力の向上」を重点目標とし、「基礎学力の向上」「社会人基礎力の向上」「思いやりと感性を育む」ことを目標に計画する。
4. 「定員40名を満了した魅力ある学校づくり」の目標は達成したものの、准看護学校の閉校や2年課程の学生充足率の低下が進んでいる中、学生を確保することは難しい。学生確保のあり方もコロナ禍で制限を受け、変化してきている。学校運営としては重要となる「定員40名を満了した魅力ある学校づくり」を充実させる。
  - 1) 受験者倍率1.3倍を目指し、学校の魅力をより多くの人に伝える取り組みの継続
  - 2) SNSを利用した情報発信
  - 3) オープンキャンパスの充実
6. 学生は就職へのニーズは当然である。学生が不利益とならないよう情報の発信と、いつでも相談をうけられるよう、就職率の向上に向けて支援体制を整える。
  - 1) 希望者就職100%
  - 2) 大阪府内の就職率80%
  - 3) キャリアガイダンスの充実

2022年3月10日

記載責任者 石川 美佐子

